

1年生学年だよ

平成 28 (2016)年 5月 26日

第 16 号

吹田市立第二中学校第一学年

みんなちがって、みんないい。

5/25 (水) の道徳の時間に、「十人十色なカエルの子」という絵本を読み、それぞれの違いについて考えてもらいました。いろんな得意なこと・苦手なことをもったカエルが出てくるお話でしたね。



担任の先生から、そして支援学級の青木先生からお話してもらったことをもう一度思い出してみてください。この第1学年は124人の仲間からできています。もちろん、それぞれ得意なことや苦手なことがあり、出来ることと出来ないことも違うでしょう。でも忘れてはいけないことがあります。それは**全員が1つのチーム**だということです。誰かひとりでも欠けてしまうと**チームではありません**。困っている人がいたら助けてあげるのがチームです。教えてあげるのもチームです。やさしく見守ってあげるのもチームです。相手のことを考えて、思いやりをもって行動することのできる学年をみんなで目指しましょう。

先生チームの中でもそれぞれの先生に得意なことや苦手なことがあります。それをお互いが認め合い、助け合って、**1つのチームになる**ことを目指しています。

みんなが授業を受けてどんなことを考えていたのか、感じていたのか、いくつか紹介していきます。チームメイトの正直な気持ちを読んでみましょう。

一人一人の気持ちや意見を尊重しなければならないと思った。

みんなにあわせる事も必要だけど、1人1人自分のペースでいいんだなと思いました。

他の人と同じじゃなくてもいい。

みんな違うけど仲間なんだなあと考えた。

自分はみんなよりペースがおそいから気にしていたけど、別に気にしなくてもいいんだなと思いました。

できない事があっても少しずつ、やり方を変えてやってみようと思った。

1人1人性格は違うけど、1人1人苦労はするんだなと思った。みんな最初からはできなくても、やればできるんだなと思った。

それぞれ人(カエル)には個性があって、それが「その人」の良いところだと思います。

その人にはその人の個性があり、できるできないにも差がある。その人にあったやり方を考えて意識する。できない所もあるが、人にはできない事だけでなく、その人のすばらしさもある。

自分だけのやり方があり、自分だけできることもある。だから、そのすばらしさを大切にしようと思いました。

出てきたカエルの中に私に似たのがありました。どうやっていいのかわからなかった。この絵本を見て、変われそうな気がしました。でも急に変わるのにはむずかしい。少しずつでいい、変われたらいいなと思います。

この世の中には、たくさんの方がいるけど、そのたくさんの方の中には必ず、みんなとちがう方がいる。私たちは、その人のことをばかにしたりするのではなく、逆に助けてあげることが必要だと思う。自分にとってふつうのことも、ほかの人にとっては、ふつうじゃないかもしれない。

これだけしっかりと考えてくれるみんななら大丈夫。

すてきな学年が、きっと作れるよ。